今後の大雪対応の方針(案)

1 大雪対応の方向性

(1) 作業の遅延要因

- ・12 月は、一度に 50cm を超える大雪もあったが、12 月だけの降雪量は比較的少なく、<u>幹線道路の</u> 運搬排雪を大きく前倒しできなかった。
- ・1月上旬の大雪による幹線道路の対応で、<u>パートナーシップ排雪(以下、PS排雪とする)を前</u>倒しできなかった。
- ・2月上旬や中旬の大雪で、再度、幹線道路の除排雪が必要となり、<u>2月からのPS排雪が進まなかった。</u>

(2) 大雪対応の方向性

〈段階的なフェーズ設定による対応〉

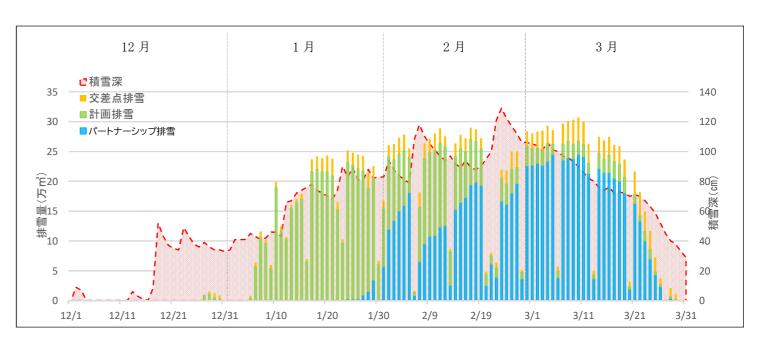
①大雪対応の早期判断(運搬排雪の前倒しと作業の強化) ⇒ フェーズ1

②大雪時の作業体制強化(応援要請)

⇒ フェーズ2

③大雪時における生活道路の臨機な対応

⇒ フェーズ3



【令和3年度公共排雪作業別排雪量の推移】

2 大雪対応の全体方針 ← 現在、札幌市大雪対応検討会議でフェーズの内容や判断基準などについて検討中

(1) 大雪対応の段階的なフェーズを設定

■フェーズ 0 ■=<u>標準作業・準備</u> 【排雪作業】

○運搬排雪:1/上旬~ 約 1,400km

○PS排雪:2/上旬~3/上旬約2,000km

【雪堆積場】

○雪堆積場(R3 当初)

: 75 箇所(市専用・一般) 2,600 万㎡を確保

※大雪に向けた調整・準備

- ・関係機関等との事前協議
- ・関係機関等との協力体制構築
- ・緊急用雪堆積場のカルテ作成

■フェーズ1■

【排雪作業】

- ○気象状況などが一定条件に達する見込 みの場合は、全ての幹線系路線の運搬 排雪の前倒し
- ○状況により、PS排雪の着手も早める

【雪堆積場】

- ○排雪状況に合せて、雪堆積場のステージ造成のため、早期に開設
- ○融雪施設の稼働開始時期の前倒し

■フェーズ2■

【排雪作業】

- ○<u>一部の区</u>でPS排雪が遅れる(着手・完了)見込みの場合は、予め定めた方法で応援を要請
 - ・排雪班確保に向けた応援要請
 - ・ダンプトラック確保に向けた応援要請

【雪堆積場】

- ○雪堆積場の搬入量や開設状況などが一定条件に 達した場合は、予め定めた方法で対応
 - ・公共や民間の未利用地に、新たな雪堆積場を開設
- 河川敷地雪堆積場の嵩上げ など

■フェーズ3■

【排雪作業】

○<u>大多数の区</u>でPS排雪が遅れる(着手・完了) 見込みの場合は、生活道路の臨機な対応に着手

【雪堆積場】

- ○雪堆積場の搬入量や閉鎖箇所などが大幅に増 え、フェーズ2の対応をもっても不足が見込ま れる場合は、公園の駐車場やグラウンドなどを 利用
- ○融雪施設の稼働期間を延長

※自衛隊派遣の要請は「北海道雪害対策連絡部」で検討中

3 フェーズに応じた応援体制や協力体制の構築

- (1)「排雪班の確保」に向けた応援要請
 - ·要請先:除雪事業者、関係団体、関係機関
- (2)「ダンプトラックの確保」に向けた応援要請
 - 要請先: 庁内部局、関係団体、関係機関

(3)「雪堆積場の確保」に向けた応援要請

·要請先:庁内部局、関係機関